

12月議会最終日(15日)
西澤議員の一般質問の
内、「人権尊重」の軸足を
どこに置くのか、との部
分の要旨を紹介します。

命と健康 **等**し **尊重** 町あげて

□□□いいものは国の制度になくても率先して□□□

町政の基本に 置くべき課題は...

日本国憲法の人権条項に
うたわれている「生存権」で
ある命と健康こそ最も尊重
するとの基本理念を貫くた
め、ひとつひとつの具体策
を。だれの命と健康も等しく
大切にすることを基本に置く
べきだと思うのです。その角
度から甲良町行政の総点検が
必要だと思います。

【再質問で】

国の制度との関係は切っ
ても切れない関係だと思い
ますが、町民にとっていいも
のは国の制度にない場合でも
率先して取り入れ、害悪とな
る制度は町の独自施策で
負担や害悪が緩和されるよ
う手当てを考えるべきだと

思います。

長野・原村の医療費無料制度

ひとつだけ例を紹介すると、65歳以上の方の医療費を無料にしている村があります。人口は約7800人、甲良町とよく似ています。65歳以上の人口は約2千人の長野県原村です。無料なので安心して早めに受診できるという村役場の担当者の言葉どおり、早期発見・早期治療が行き届いて、一人当たり老人医療費は、07年の見込み額ですが、全国平均87万円。長野県は一番低く71万6千円ですが、原村はさらに

長野・原村長
清水 澄さん
今のお年寄りは、苦勞して村をここまで発展させてきました。だから、年をとって医者にかかるときには医療費の心配がないようにしたい、という強い理念があります。
医療費の心配がないから、大ごとにならないうちに、お医者さんにかかるのが一番大きい。村では高齢の方が農業生産の大半を担っていますが、具合が悪くなってもしっかり治して、元気に働いています。高齢者の就業率は長野県下一です。
無料化すると病院がサラン化して医療費が増える

無料化で医療費減った

言いますが、原村ではお年寄りも仕事を持っていません。細の作物も子育てと一緒に、毎日目をかけないといいものできません。毎日病院に通って仲間と話している時間はないです。きちんと検診をやらないと医療費が増えますから、各種検診も無料化しています。実は原村は、長野県の平均より老人医療費が低いのです。
高齢者の医療費無料化に必要な財源は年7450万円です。村の予算規模は約35億円なので、何とか維持できます。医療費無料化は原村の歴史になっていますから、私は意志を持って買っています。

低い64万6千円です。全国平均より22万円3千円も低いのです。命を守ることと、財政出動の観点から見ても素晴らしい成果です。村長の清水澄(きよし)さんは、(当時)麻生内閣が実施した14兆円もの補正予算を批判して「財界や大資本にだけいい顔をしています、本当に底辺で苦しんでいる人たちを救うのが政治でしょう」との談話を8月の新聞(「赤旗」)に寄せています。このように制度の立案点を「住民本位」で考えると色々な知恵が浮かんでくるものだと私自身

もこのような例に接すると感心してしまいます。

「若死に」返上 最重点施策に

「若死に」の一番が滋賀県、その中でも甲良町が一番と最近聞いてビックリしています。滋賀県下で一番の平均寿命が短い甲良町は学ぶところが大きいと思いました。命と健康を守る総合的な取り組みを最大の重点に据え、町行政・町民上げての取り組みにしてゆく必要を痛感しています。

【原村の医療費無料化は1971年から75歳以上。81年からは65歳以上に拡大】

原村の医療費無料化制度を伝える「しんぶん赤旗」8月16日号



原村の医療費無料化制度
医療費の窓口負担(1〜3割負担)を助成。受診の翌月以降、役場に申請すると、口座に振り込まれます。原村の人口は約7800人で、65歳以上は約2千人です。
高齢者のほか、中学生以下、母子父子家庭、障害者、寡婦も医療費を無料化しています。さらに、村民の世帯主が、高額療養費の自己負担限度額を超えると、自己負担分を助成します。

甲良民報

2009年12月20日 436号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel.Fax38-4949